

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023年9月12日
作成 高齢者支援センター	南第1
作成者	増田和樹

1.開催日時	2023年9月1日	(金)	14:00	~	15:30
2.会場	南市民センター2階ホール				
3.主催センター	南1				
4.参加人数	45名				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 6人		<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 2人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 20人 (うち、医師1人)		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 9人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 民生委員 4人		<input type="checkbox"/> 老人会 人		<input checked="" type="checkbox"/> 住民 4人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人		<input type="checkbox"/> 警察 人		<input type="checkbox"/> 行政 人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (高齢者支援課2名)				
6.開催テーマ	アルコール問題を抱える方との関わり方				
7.地域課題	<p>(1)課題設定の背景 コロナ禍により外出が制限され、自宅で過ごすことが多くなった結果、アルコールに関する問題が表面化し増加してきている。昨年、ケアマネを対象とした研修においてケアマネの意見から地域でのアルコール問題が当事者、家族において増加傾向であることを受けて、本人・家族・地域住民・支援者を中心にアルコール問題を抱える方々が、日常生活に戻るためには医学的な面からのアプローチと在宅(家族・関係機関・地域住民・支援者)との双方で支える仕組みが、現状地域において不足して</p> <p>(2)検討した地域課題 アルコール問題を抱えた当事者・家族・支援者が対応方法に迷い、悩んでいる実情がある。アルコール問題を抱える当事者を、在宅で支える家族・地域住民・関係機関・支援者がそれぞれ対応方法、関わり方について、医学的な観点から学び、地域全体でアルコール問題を抱える当事者・家族に対して地域住民・支援者は地域全体でどう支援していくか考えていく事が課題となっている。</p>				
8.会議の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア推進会議の趣旨説明 ・よしの病院 河本院長より「アルコール問題を抱える方との関わり方」の講義 ・アルコール問題を抱える在宅ケースの事例紹介 ・高齢者支援センター、ケアマネジャー、薬局、民生委員、一般住民、当事者、講師等それぞれの役割、立場の中で「周囲にアルコール問題を抱える人はいるか、いたらどう接しているか」「もし紹介の事例の当事者だったら、どのような気持ちかどのようなサポートがあるか」を意見交換。 ・河本医師から総評 ・質疑応答 				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の地域ケア推進会議を実施し、アルコール問題を抱える方が感染症の拡大以降より増加傾向にあることが、グループワークからも伺うことが出来た。河本医師からの講義によりアルコール問題を抱える方への支援について新たな知識を習得し、参加した各専門職の対応力向上に繋がると考えられる。 ・アルコール問題を抱える方には、中長期的な支援が必要と考えられる。今後も「よしの病院河本医師」より講義を受ける機会を設け、個々の知識を深め、地域での対応力向上に努めていく。 ・今回学んだ知識や情報を、一時的なものではなく当事者・地域住民・関係機関・支援者に向け発信出来るように、支援センターで今後検討を行う。 				
10.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日

9月 14日